

福岡市

油山市民の森

30年のあゆみ

油山市民の森 開設30周年をむかえて



福岡市長
山崎 広太郎

市民の森は、明治100年記念事業として、昭和44年の開設以来、満30周年を迎えることになりました。

開設にあたりましては、市民ならびに各界各層により組織されました「市民の森運動本部」のご高配により、市民に親しまれる市民の森としてオープンし、運動本部解散後は、「福岡市市民の森協会」のご協力により植栽などの施設整備等が行われ、緑あふれる森林として、四季を通じて市民の皆さんに親しまれております。

また、昭和63年4月には「自然観察の森」が、平成8年7月には隣接する「油山牧場」が再整備され、自然とのふれあいはもとより農林業のふれあいの場として、多くの皆さんに利用され楽しんでいただいております。

近年、森林は都市の発展により、木材生産の場としてばかりでなく、水源かん養や環境保全、緑豊かな自然とのふれあいの場としての機能などその公益的機能の重要性が高まっております。

このため、21世紀に向け自然を生かす快適な生活の都市づくりのなかで、油山市民の森が魅力ある都市のいこいの場になるように努力してまいる所存であります。

ここに、市民の森の発展にご尽力を賜りました関係者各位、並びに市民の皆さんに深く感謝いたしますとともに、今後とも末永く市民の森を愛し、育てていただきますようお願い申し上げます。次第であります。

開設30周年によせて



福岡市市民の森協会 会長
後藤 達太

昭和44年に「油山市民の森」が開設されてから30年になりました。

この間、市民の皆さんのご協力により10周年記念事業として「世界の樹木園」を、20周年記念として「つばきの森」等を整備しますとともに、市により「自然観察の森」、「もーもーらんど油山牧場」が整備、拡充されました。

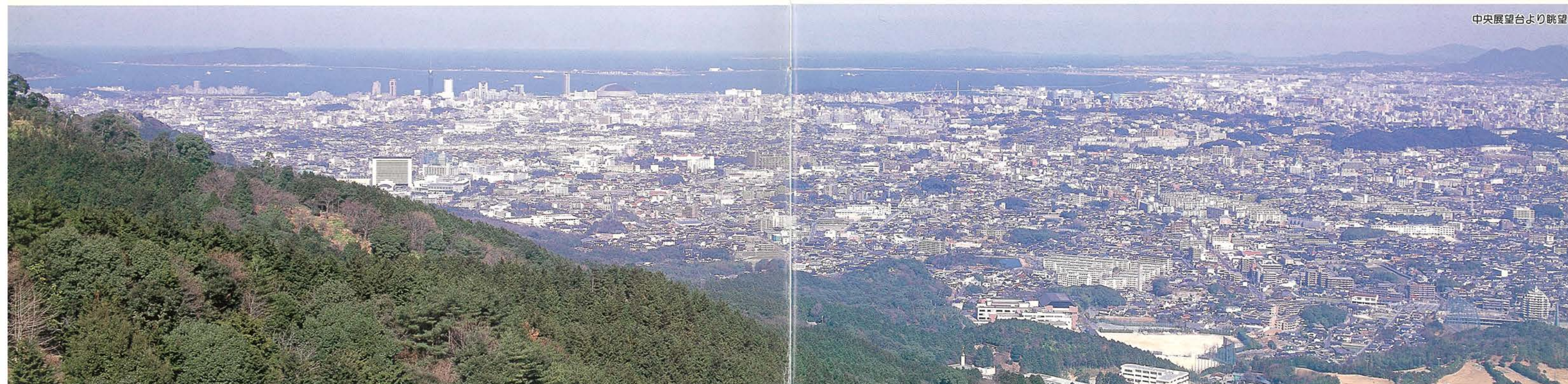
当初、植栽された幼木も立派に成長し、また、都心近くにありながら多くの自然に満ちた油山で、市民の皆さんが親しまれ楽しめられている姿を拝見いたしますと、開設当初からの「基本理念」がこの30年間引き継がれてきたことを大変喜ばしく感じているところであります。

この市民の森が、年間約28万人の皆さんに、また、隣接する油山牧場を含めると年間約80万人の方々にご利用されていることを思いますと、その役割はますます重要なものと考えております。

このような中で、市民の森協会におきましては、市民の森開設以来市民の皆さんとともに森を愛し育てながら、事業といたしましても自然教室やハイキング教室等を開催し、皆さんが快適に利用しやすい運営に努めているところであります。

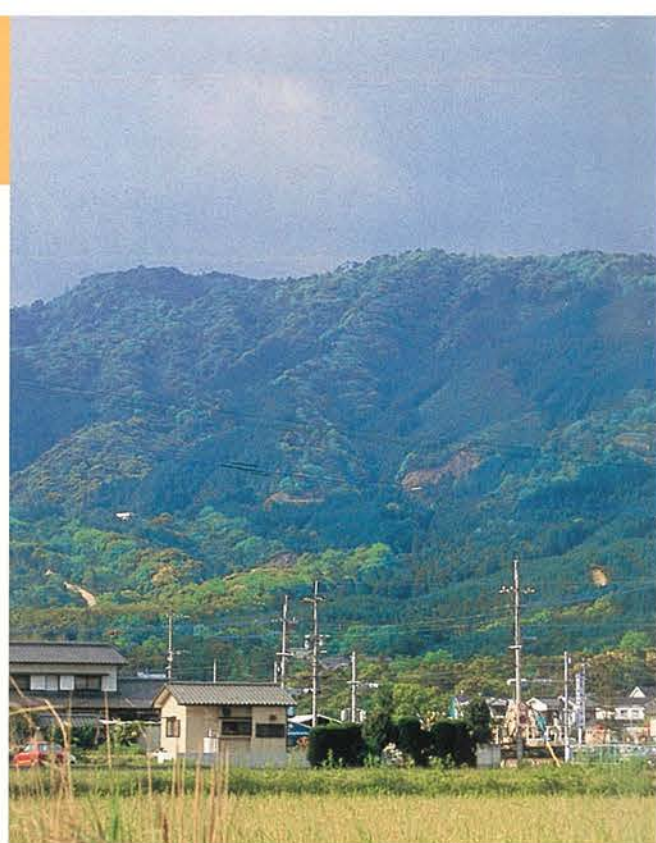
このたび、市民の森開設30周年を迎え、今後とも、この恵まれた自然を生かし、緑豊かな「市民の森」とするため、なお一層努力してまいりますので、市民並びに関係各位のご協力を切にお願い申し上げます。

中央展望台より眺望



目次

市民の森の基本理念	1
油山の自然	2
油山の四季の紹介	3
油山市民の森マップ	7
市民の森・自然観察の森の主な施設	9
自然観察センターの概要	11
油山牧場の概要	12
市民の森の建設経緯	13
市民の森の施設と利用状況	14
30年のあゆみ(年表)	15
(財)福岡市森林公社の概要	18
福岡市市民の森協会の概要	19



市民の森の基本理念

市民の森は、福岡市と市民が自然を守り住みよい美しい都市づくりをすすめるため、市民のレクリエーションや青少年の教育の場として自然のままの自然を永く後世に引き継ぎ広く市民の利用に供するため、開設当初より次のような基本理念をもっています。

自然のままの自然

自然をそのまま放置することなく、人々が親しみをもって自然に接することができ、きれいに整備された自然と完成された理想の自然を目指しています。

林業の啓発普及

森林は豊かな水源をかん養し、土砂の流出を防ぎ、植物を育てる土をつくり、そして空気をきれいにするなど多くの公益的機能をもっています。市民の愛林思想の高揚と自然愛護の精神を育てる場所です。

人間性の回復

人間性をとりもどす役割をもつ保健休養林として、より多くの市民を迎え、心身をリフレッシュし明日への活力を養い人間性を回復する場所です。

徒歩利用の原則

都市の騒音からのがれて、緑豊かな森林に包まれた散策路を歩くことにより、日頃の運動不足を解消し、明日のための健康と体調を整える場所です。

●地形地質

油山山系は市の西南に位置し、油山山頂は標高597m、地質は花崗岩質で概して堅固であるが急峻な地形が多く、林地は崩壊しやすいところもあります。また、油山の東側は、樋井川の上流部にあたり、特に自然観察の森(水の森)は豊かな水量を有しています。

平野部に突出した形の油山からの展望は、東から南にかけて立花山、三日月山、若杉山、三郡山、宝満山、四王寺山、背振山の山並みが一望され、その遠くには英彦山も眺望できます。また、北部には市街地をとおして能古島、志賀島をはじめ、玄界島、小呂島、晴れた日には遠く玄界灘をへだてて杵岐の島も眺望できます。

●主な動物

1)鳥類

・留鳥 ヤマガラ、シジュウカラ、アオゲラ、ウグイス
・渡り鳥 サシバ、オオルリ、キビタキ、サンコウチョウ、ジョウビタキ、ツグミ、カシラダカ、ミヤマホオジロ

2)昆虫類

カブトムシ、ノコギリクワガタ、カナブン、オオオサムシ、ミヤマカワトンボ、オニヤンマ、ツマグロヒョウモン、ミヤマカラスアゲハ

3)哺乳類

ホンダヌキ、ニホンイノシシ、キュウシュウノウサギ

4)両生類・八虫類

ヤモリ、カナヘビ、タゴガエル、ブチサンショウウオ



●ヤマガラ

●主な植物

1)高木類

アカマツ、スギ、ヒノキ、タブノキ、クスノキ、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、コナラ、ホルトノキ、エノキ、キンモクセイ、ヤマモモ、ヤブツバキ、ホオノキ、シラカシ、クマノミズキ

2)中高木類

ゴンズイ、タラノキ、ヌルデ、ヤマウルシ、クサギ、ネジキ、カナクギノキ、アカメガシワ、ニワトコ、リンボク、エゴノキ、ネズミモチ、クロキ、ソヨゴ、ヤマボウシ、リョウブ

3)低木類

ヤマハギ、イヌツゲ、ヒサカキ、シャシャンボ、ムラサキシキブ、イヌザンショウ、レンギョウ、ヤブコウジ、ヤマツツジ、アケビ

4)シダ類

イヌシダ、コシダ、クリハラン、ウラジロ、ホラシノブ



●ヤブツバキ

春

春は目覚めの季節

和らかい春の日差しを受けて樹木が目覚まし、つぎつぎと若い葉をのびし始め、昆虫たちの卵からもつぎつぎと新しい生命がうまれていきます。地上では、かわいらしいつくしやふぎのとうが小さな頭を出しています。山全体が生命を得たかのように賑やかになり、サクラの開花と同時に森が春に包まれます。そして、春は運動をする季節でもあります。寒かった冬も終わり、何となく心身ともに解放感に包まれて、自然に屋外へ誘われる気持ちになります。

市民の森も、若葉と花とそよ風で春が匂い立ち、皆さんの訪れを待っています。フィールドアスレチックや運動広場で遊び、香りの散策路で花を楽しみ、展望台やつり橋の上で、おいしい空気を吸って、そしてお腹が空いたら日帰りキャンプ場で、カレーライスやバーベキューを作って食べて、それからまた遊びましょう。



3月

(植物)ユキヤナギ、シキミ、イヌガシ、タムシバ、
(野鳥)ヤマガラ巣づくり
(催事)竹馬・竹トンボづくり教室、油山十六景めぐり



●フデリンドウ

4月

(植物)サクラ、カナクギノキ
(野鳥)オオルリなど夏鳥が渡ってくる
(催事)花見(サクラ3000本)、スケッチ大会、オリエンテーリング教室



●カワラヒワ

5月

(植物)ツツジ、ホオノキ、エゴノキ、ウツギ、ヤマフジ
(野鳥)たくさんのさえずりが聞かれる
(催事)油山十六景めぐり、野鳥展(イムズにて)



●遠足

夏

夏は成長の季節

梅雨も上がって、夏の太陽が照りつける森は、深い緑に包まれ、樹液に集まるカブトムシや、忙しげに鳴くセミ時雨など昆虫たちの天国です。また、鳥たちも子育てに忙しく、餌を巣へ運んでいます。

地上では、子供たちが街中の灼熱のジャングルから逃れて、キャンプ場や水の森などの水辺で涼風を楽しんでいます。そして、夏といえばキャンプを楽しむ季節です。アスファルトやコンクリートの生活から離れて、山や海での夏のキャンプは最高です。中でも市民の森のキャンプ場は、都心から車で40分と、市内では一番近いところにあり、溪流やカブトムシの森など遊ぶところも豊富にあります。バンガローやテントサイトがあり、テントや飯ごうなどの貸出器具も準備しています。宿泊キャンプの期間は夏休み期間中です。



6月

(植物)クチナシ、ネジキ
(野鳥)ホトトギスのさえずりが盛んに聞かれる
(催事)宿泊キャンプ受付開始(6月1日から)



●水の森で遊ぶ子供たち

7月

(植物)ブッドレア、ネムノキ、リョウブ
(昆虫)セミの声が盛んに聞かれる
(野鳥)さえずりがだんだん少なくなる
(催事)キャンプ引率者講習会、キャンプ場開き、油山十六景めぐり



●新緑の森林浴コース

8月

(植物)クサギ、ツルリンドウ
(昆虫)ツクツクボウシ
(野鳥)葉が茂り、姿が見にくくなる



●オオルリ

秋



9月

(植物)キンモクセイ、ハギ、リンボク
(野鳥)タカの仲間、ハチクマの渡りが見られる
(催事)オリエンテーリング大会



●ハチクマ

10月

(植物)サザンカ、ツワブキ、オケラ
(野鳥)モズの高鳴きが聞かれる
(催事)森のおまつり



●シマカンギク



●森のおまつり

11月

(植物)モミジ(紅葉)
(野鳥)ジョウビタキなど冬鳥が渡って来る
(催事)油山十六景めぐり

12月

(植物)ロウバイ
(野鳥)冬鳥の姿がよく見られる



●ウメ



●椿油しぼり・もちつき大会

2月

(植物)ウメ、ジンチョウゲ
(野鳥)シジュウカラなどさえずりはじめる



●シジュウカラ

冬

冬は充実の季節

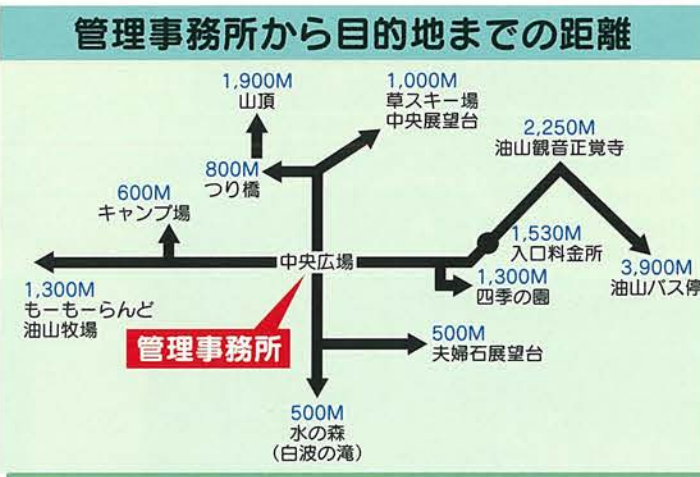
冬の静かな森で、木々は小さな芽を残して葉を落とし、厳しい冬を越します。虫たちは、幼虫や卵などで冬を越し、春の目覚めを待ちます。冬の鳥たちが、木の実などの餌を求めて枝から枝へと元気に飛び回っています。地上では、落葉がじゅうたんのようになり、木の実は昆虫の越冬と春の目覚めを見守っています。そして冬は、私達の心に充電をする季節でもあります。静寂な冬の森内では、野鳥が良く見られます。年に数回の積雪は、森の木々に白い帽子をかぶせ、山を美しい雪景色に変えます。そこで、街中の騒音を忘れ、日頃の運動不足を解消するために、油山山頂までの登山をお勧めします。山頂までは、市民の森管理事務所から3つの登山ルートが森林浴コースとして整備され、いずれも1時間程度で登れます。

秋は実りの季節

森が色づき、木の実が実り、動物たちがどんぐりを集めたり、山芋を食べたりの冬支度で大忙し。夏鳥は南への旅支度を始め、地上ではコオロギが朽木くちきの下で美しい音色で鳴いています。そして、秋はハイキングの季節でもあります。秋は空が一番澄んでいて、屋外で遊ぶには何をしても楽しくなります。こども広場で弁当を広げての親子だんらんや、年間を通して行われる自然観察会、オリエンテーリング、油山十六景めぐりなど、市民の森行事への参加、また、木の実や落ち葉でアイデアを生かした芸術品を作ったり……展望台からの眺めもなかなかのものです。また、やがて来る冬にそなえて運動もすっかり行ってきた。市民の森には油山牧場や花畑園芸公園と結ぶハイキングコースがあり森の中には自然観察路があります。秋空の下をハイキングで汗を流すと、とても爽快です。



油山市民の森マップ



凡	例
森林浴コース	
自然観察路	
香りの散歩道	
管理用道路	
遊歩道	
一般車道	
ビートルストレイル	
溪流	
市民の森区域	
油山牧場区域	
休憩施設	
芝生広場	

油山十六景

昭和の初期ごろ、油山観音正覚寺の境内にある十六羅漢にちなんで、ふもとに住む人たちが中心になって、油山の歴史や伝説の舞台を示す「油山十六景」を定めたといわれます。説明板を立て、道標で場所を案内しています。

- | | |
|-----------|--------|
| ① 六地藏 | ⑨ 国見岩 |
| ② 坊住跡 | ⑩ 姫ヶ淵 |
| ③ 鎮西国師学寮跡 | ⑪ 夫婦石 |
| ④ 新羅式石門 | ⑫ 山笠岩 |
| ⑤ 光ヶ滝 | ⑬ 白波の滝 |
| ⑥ 油谷 | ⑭ 天狗岩 |
| ⑦ 浩然台 | ⑮ 道德の森 |
| ⑧ 妙見岩 | ⑯ 夫婦滝 |

主な油山十六景めぐりコース

- 白波の滝コース**——夫婦石…姫ヶ淵…つり橋…山笠岩…白波の滝…天狗岩…中央広場
- 夫婦滝コース**——夫婦滝…夫婦石…白波の滝…天狗岩…道德の森…花畑園芸公園
- 油山観音コース**——六地藏…油山観音…新羅式石門…光ヶ滝…鎮西国師学寮跡…四季の園…元の滝…夫婦石
- 山頂コース**——油山観音…鎮西国師学寮跡…妙見岩…国見岩…山頂…県木の森…つり橋…姫ヶ淵…中央広場…元の滝…四季の園…入口駐車場

市民の森・自然観察の森の主な施設

キャンプ場

宿泊キャンプ…夏休み期間中
(市内居住者は6月1日から、市外居住者は6月8日から受付開始)
日帰キャンプ…通年 (予約制・電話可)
※利用の仕方、貸器具等は、市民の森管理事務所及び市民の森協会へ



テント設営とバンガロー

草スキー場

斜面角度最大30度、延長43mコース・35mコース
※スキーは草スキー専用を使用(貸出もあります。)



つり橋

市民の森のシンボリック存在のつり橋です。高さ30m、長さ52mでスリル満点。また、周辺の樹木の紅葉も見事です。



アスレチックコース

中央広場前……8基
ネット登り、ブランコ渡り等
子供広場……7基
丸太登り平均台、タイヤ滑り等



ネット登り

展望台

中央展望台 (標高347m)、夫婦石展望台 (標高290m) いずれも市街地、博多湾などがのぞめます。



夫婦石展望台

滝

油山には、「白波の滝」「元の滝」「山笠の滝」などの滝があり、散策時の休憩場所として最適です。



白波の滝

オリエンテーリングコース

昭和46年に「市民の森」を中心にした油山オリエンテーリング公認コースを開設。5、7、8kmコース
※利用申し込みは、市民の森協会へ。
※なお、協会では、年2回オリエンテーリング大会を実施しています。



カブトムシの森

カブトムシが集まりやすい樹液の出るクヌギ等を植栽。また、カブトムシについて解説展示した観察小屋もあります。



ボランティア活動

施設ボランティアの育成に努め、現在、自然解説・案内や森の手入れで活躍しています。



ボランティアグループによるアカマツ林の下草刈り

森林浴コース

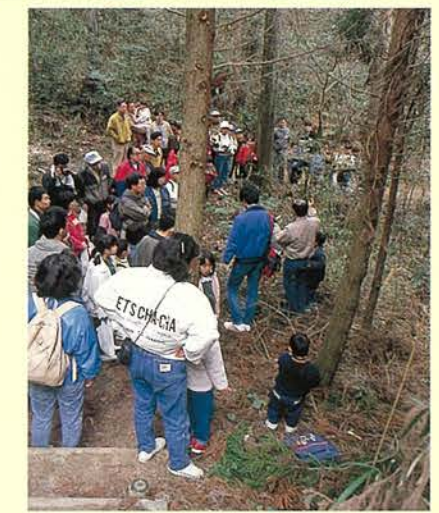
市民の森を中心に、油山山頂までの森林浴コース約8,000mを昭和61年度から整備。(市民の森開設20周年記念事業、平成5年完了)



※山頂までは管理事務所から大人で約1時間程度です。
山頂Aコース…所要時間/約2時間10分
(国見岩・山頂・キャンプ場)
山頂Bコース…所要時間/約1時間50分
(つり橋・山頂・キャンプ場)
せせらぎコース…所要時間/約1時間30分
(こたまの森・山笠の滝)

自然観察会

各種観察会を概ね週1回開催。「市政だより」や「もりのしんぶん」等で参加者を募集しています。



ジュニアレンジャークラブ

小学校4～6年生のこどもたちのグループです。自然となかよくなるための活動を、月1回程度実施しています。



活動のようす

自然観察センター(ネイチャーセンター)の概要



福岡市油山自然観察の森の中心施設です。自然解説指導員(レンジャー)が常駐し、主に次のような業務を行っています。

《環境教育・人材育成》広報募集行事の実施、一般及び団体利用者への対応、センター内及び野外での展示、ジュニアレンジャークラブや施設ボランティアへの対応など。

《環境保全・環境管理》保管理計画を策定し、森の維持管理作業などの実施。

《情報提供・ネットワーク》油山及び福岡市周辺の自然環境についての情報を収集し、来館者へ提供。

《調査・研究》生物相の把握や来館者への情報提供、環境管理のモニタリングなどを目的とした自然環境調査、及び利用者数や行事への満足度などの把握を目的とした社会環境調査など。

《広報》「もりのしんぶん」「行事予定表」などの印刷物の定期発行

野外では自然が主役。
採集しないで、観察しよう。
静かにそっと見てみよう。
一本道はコースを守ろう。
危険な山火事、火の気に注意。
持って帰ろう、思い出とゴミ。
近づかないで、野鳥のおうち。

センター外観



バードウォッチング



入館者30万人達成(平成11年12月)



センター内観(秋の展示会)



利用案内

開館時間: 午前9時~午後4時30分

休館日: 毎週月曜日

(祝日の場合は、翌日)

年末年始(12月29日~1月3日)

入館料: 無料

貸し出し: 双眼鏡、野外観察図鑑を無料貸出

団体利用: 事前に予約が必要です

人数、時間、年齢、目的に応じてレンジャーとプログラムを決めてください。



もーもーらんど油山牧場の概要



強健な乳用後継牛を育成し畜産の振興を図る公共育成牧場として、昭和48年に油山牧場を、昭和58年に背振牧場を開場しました。その後、油山牧場は、市民に家畜や自然とのふれあいの場を提供する観光牧場として再整備し平成8年にオープンしました。



■面積/牧場総面積...47.47ha うち草地...32.76ha

■育成牧場/生後6~9ヶ月の乳用後継牛(ホルスタイン)

を市内の酪農家から預かり、分娩2ヶ月前まで平均15ヶ月育成しています。(収容能力70頭)

■展示家畜/搾乳牛、育成牛、和牛、馬、豚、羊、鶏 等

市民研修施設



体験乗馬



放牧



利用案内

開場時間: 午前9時~午後5時

レストラン・売店は午前10時開店

※閉店時間は季節・曜日により変更します

休場日: 毎週水曜日(祝日の場合は、その翌日)および年末年始

入場料: 無料

駐車料: 有料

体験搾乳: 無料

(ホルスタインの手しぼり体験)

体験乗馬: 有料

(引き馬に乗って馬場を1周)

主な牧場施設: 育成牛舎、展示家畜舎、搾乳牛舎、畜産加工研修施設、畜産資料展示館

体験搾乳



※背振牧場(19.95ha)では乳用後継牛の育成(収容能力100頭)のみを行っています。

市民の森の建設経緯

市民の森は、明治100年を記念して市民の直接参加のもとに建設されたユニークな自然の森です。

市民の森の建設は、昭和42年の年頭の市長記者会見において、生活環境整備の重点事業のなかで「健康的で緑あふれる自然を満喫できる市民レクリエーションの場としての油山総合開発」という基本構想が発表されたことに始まります。

昭和43年は明治100年を迎える年にあたり、国、県、市町村がそれぞれ明治100年を記念する各種事業を企画しました。福岡市では、昭和42年8月、市、市議会、経済界、労働団体、自治会、学界、文化団体など各界の賛同のもとに、阿部市長を会長とする「福岡明治100年記念委員会」が発足しました。記念委員会では、いろいろな記念事業が検討されましたが、油山総合開発構想にもとづいて、市民の森を記念事業とすることが決まりました。この年の11月には、市民の積極的な参加を得るための推進母体として、「市民の森運動本部」(本部長・森 俊雄氏)が設けられました。

運動本部では、昭和42年から3ヵ年計画で市民の森づくりを進めることを決め、市民の森建設についての市民の幅広い意見をまとめるとともに、これを実現するために自主的な市民参加を呼び掛けました。「僕の木、私の木を植えよう・一木一樹を市民の手で」と植樹や施設などの募金活動をはじめ、シンボルマークの募集、ミス市民の森の選出、市民植樹祭など、多彩な催しで市民の関心を高めました。これら植樹祭には多くの人々が参加し運動を推進しました。

市では、市民の森建設にあたり、関係部局でプロジェクトチームをつくり、基本計画、実施計画の樹立、土地基盤(道路、広場、排水路、園地造成など)の整備事業を主体に推進にあたりました。また具体的な市民の森の造成計画については、造園、林業の専門家である九州大学、九州産業大学の先生方の助言、指導をうけました。

地元では、当時の福岡市森林組合長が先鞭をきって油山の植林、林道の開設、用地の寄附などに積極的に協力され、日頃から云われていた「長尾山市有林72haは市民のいこいの場に開放しては……」との提言が実現したわけです。また同組合長は市民の森内に50年杉、60年杉の植林、保育に尽力されました。

このようにして市民の森建設運動は、個人、法人、奉

仕団体、また福岡市出身の在京者など、善意の輪は市外にまで広がりました。総額5,700万円にのぼる寄附によって、キャンプ場、水の森、こだまの森、夫婦石及び中央展望台、つり橋、自然教室、草スキー場などの施設が次々と着工され、サクラやレンギョウ、世界の樹木など2万本をこえる花木も植樹されました。

建設途中の昭和43年4月12日には、皇太子ご夫妻(現天皇陛下)が夫婦石展望台にお立ちになり「立派に成長した市民の森を再び訪れてみたい。」という感銘深いお言葉を賜りました。

市民の善意と協力により昭和44年12月計画の各施設が完成、市民の森は運動本部から市に寄贈されました。さらに昭和45年から3ヵ年計画で市民の森の南側に国有林28.8haを借り受け、乳牛の子牛を育てる油山牧場が完成しました。

昭和44年12月に市民の森運動本部は事業を終え解散しましたが、かわって翌年10月に市民各界による市民の森協会が設立され、登山者のサービスを開始しました。

市は、昭和44年4月に市民の森管理事務所を設置して、利用者の安全と、森林の管理につとめています。

その後も、市民並びに各団体からの植樹、施設の寄贈などがあって、年を追うごとに内容を充実してまいりました。

昭和59年4月からは、(財)福岡市森林公社が管理業務を行うようになりました。また、同年から、水の森周辺を中心にして23haの自然観察の森の整備に着手し、昭和63年4月にオープンしました。

さらに、平成6年に市民の森開設25周年記念として、カブトムシの森がオープンし、平成3年度から再整備が進められた油山観光牧場(47.47ha)が平成8年7月に開場しました。

このようにして、30年の年月を経過し、当初72haであった市民の森は、自然観察の森、油山牧場を含め、現在141.17haに拡充、建設当時から植栽されてきた樹木も、自然木とあわせ約10万本に達しております。

当初、年間18万人の利用者も現在では、約28万人、油山牧場あわせて約80万人もの多くの市民の方に利用され、四季を通じて変化する色彩を求めてのハイキングや自然にふれあいながら楽しむレクリエーションの場として親しまれています。

市民の森の施設と利用状況

主な施設

(1) 市民の森70.7ha及び自然観察の森23.0haの概要

花 木 園	22.1	サクラ、ツツジ、ウメ等22,000本	森林浴コース	—	延長約8,000m(S61~H4年度)
つばきの森	1.5	ツバキ2,000本(5周年,20周年記念)	林業展示林	21.1	杉、桧の人工林
世界の樹木園	3.9	46種3,000本(10周年記念)	管理事務所	0.1	自然教室、売店、休憩所、中央広場
モミジ谷	2.0	モミジ1,000本(15周年記念)	駐 車 場	1.0	入口(105)中央1(140)中央2(130)
四季の園	0.3	21種1,200本	自然観察センター	—	鉄筋コンクリート2階建420㎡
県 木 の 森	1.0	47都道府県550本(56~58年)	自然観察路	—	延長4,202m 幅員1.5m
キャンプ場	2.3	日帰り300人、夏休み宿泊テント・バンガロー	蝶 の 楽 園	0.2	花壇、観察路
草スキー場	1.0	最大斜度30度 43mコース	こども広場	0.5	芝生広場3面、相撲土俵、アスレチック
つ り 橋	—	長さ52m、幅2m、高さ30m	カブトムシの森	0.4	カブトムシの観察小屋、観察路、産卵生育床
展 望 台	—	中央展望台(347m)、夫婦石展望台(290m)	観察小屋(野鳥)	—	40㎡:1棟、16㎡:2棟
アスレチック	—	8基(20周年記念)、こども広場7基	観察小屋(カブトムシ)	—	48.6㎡:1棟
香りの散策路	—	延長2,500m、1,000本(61~63年度)	そ の 他	36.3	自然林、管理道路(林道)等

(2) 主要樹木本数(約10万本)

杉(30年以上)	27,400	ユキヤナギ	1,500	ツバキ	2,300	レンギョウ	1,500
桧(30年以上)	42,300	モミジ	1,900	フヨウ	700	ウメ	630
松(60年)	2,000	ハギ	600	サザンカ	1,220	世界の樹木園	3,000
サクラ	3,000	ピラカンサ	1,100	ツツジ	9,200	県木の森	550
クス	320	ハナモモ	620	ナンキンハゼ	1,200	その他花木等	約1,500

利用状況

年 度	入山者数	徒歩入山者数	駐車台数	キャンプ場利用者数		自然観察センター入館者数	油山牧場入場者数	油山牧場延入牧数
				日帰り	宿 泊			
昭和44年度	181,929	67,061	40,478	...	...	...	...	...
45	180,993	51,774	45,686	5,635	1,861	...	...	...
46	166,073	42,584	41,712	5,679	1,823	...	...	5,936
47	234,504	44,080	55,280	5,612	2,526	...	...	15,516
48	239,226	41,608	61,175	6,829	4,010	...	...	23,360
49	241,196	47,961	60,840	6,656	4,668	...	...	24,592
50	288,540	73,186	63,705	10,972	3,942	...	...	24,429
51	304,019	84,720	65,300	6,604	4,356	...	...	25,522
52	329,480	113,121	63,139	6,207	5,869	...	...	28,017
53	377,446	148,440	72,485	6,045	5,957	...	...	28,394
54	422,953	171,735	77,111	10,480	5,549	...	...	28,059
55	309,312	134,540	65,894	5,829	4,270	...	...	28,751
56	411,030	257,867	46,848	8,357	5,267	...	...	28,587
57	361,910	252,939	33,249	6,746	4,934	...	...	30,311
58	379,630	271,320	32,326	7,418	4,748	...	...	27,376
59	376,630	260,710	32,996	9,265	3,990	...	...	22,815
60	287,346	193,792	33,162	8,093	3,912	...	...	17,528
61	236,304	130,009	33,969	8,610	3,339	...	...	17,753
62	233,450	140,536	29,272	7,208	2,388	...	...	18,815
63	257,782	136,007	33,101	8,286	2,691	20,480	...	19,813
平成元	286,040	149,338	36,273	8,621	3,109	24,058	...	23,851
2	289,792	148,675	35,197	8,737	3,039	24,889	...	22,806
3	275,628	135,564	35,205	9,688	2,339	25,173	...	20,183
4	266,235	108,863	39,777	11,900	2,812	29,340	...	13,812
5	278,715	121,308	39,568	11,645	2,817	34,990	...	16,588
6	269,010	111,352	40,124	12,282	2,512	30,763	...	19,207
7	238,500	95,968	36,328	10,001	2,168	27,133	...	23,813
8	289,731	126,664	41,583	11,035	2,420	22,926	392,310	25,544
9	269,700	133,136	35,082	12,795	1,921	22,696	533,000	22,843
10	249,800	124,622	32,129	11,637	2,042	20,958	499,000	29,200
合 計	8,532,904	3,919,480	1,358,994	248,872	101,279	283,406	1,424,310	633,421

市民の森・自然観察の森・油山牧場等のあゆみ

		市民の森・自然観察の森・牧場のできごと		その他の主なできごと	
1965	昭和40年	3	黒の原林道完成。延長3,192m	10	朝永振一郎氏ノーベル賞受賞。
1967	昭和42年	1	阿部市長、年頭記者会見で長尾山市有林72haを市民のレクリエーションの場とする「油山総合開発」の基本構想を発表。	6	油山青年の家開館。
		3	東油山林道完成。延長642m		
		6	明治百年記念行事世話人会発足。「市民の森造成」を記念事業として検討。		
		8	福岡明治百年記念委員会を、市、市議会、教育委員会、その他目的に賛同する民間諸団体と学識経験者で組織し、阿部市長を会長に選任。記念事業は油山に「市民の森」を造成することに決定した。また、全市民の記念事業とするため「市民の森運動本部」の設置を決定。		
		10	「市民の森運動本部」は、民間諸団体により構成し、本部長・森俊雄氏、幹事長・貝島義之氏を選出し、スタート。	9	福岡～釜山航空路開設。
		11	市民の森運動本部発足記念植樹祭を開催。営林局長、県知事、日本桜の会会長、桜の女王、その他多数の来賓を迎え、500人を超える市民参加。	10	ソ連「金星4号」軟着陸に成功。
		12	福岡南ロータリークラブから創立10周年を記念して樹木93種1,100本寄贈される。		
1968	昭和43年	4	皇太子殿下ご夫妻、夫婦石展望台にご来臨。春の市民植樹祭開催。市民約1,500人が参加。ミス市民の森発表。黒田真理子さんらミス市民の森、椿の精、つつじの精、藤の精、桜の精を選出する。市民の森シンボルマーク発表（当時の夕刊フクニチ新聞社の協力で2,000点の応募作より選定）。	6	小笠原諸島返還。
		7	高松宮ご夫妻ご来訪。楠を記念植樹される。	9	市中央卸売市場青果市場開場。
		8	オークランド市のYMCA一行、ホルトノキを記念植樹。	10	川端康成氏 ノーベル賞受賞。
		12	油山市民の森基本計画書作成。基本理念を「自然のままの自然」「人間性の回復」「林業の啓発普及」「徒歩利用の原則」とする。	12	東京府中市で3億円奪取事件。
1969	昭和44年	3	芝生と岩の広場（草スキー場）、赤松展望台、こだまの森、野鳥の森、水の森、夫婦石展望台、キャンプ場完成。	7	アポロ11号、月面着陸。人類初の月面踏査。
		4	「油山市民の森条例」制定。条例に基づき「市民の森管理事務所」を設置し、市民の森の管理にあたる。春の市民植樹祭開催。夫婦石展望台広場に市民約8,000人が参加、展望台の除幕式、花木園での記念植樹を行なう。		
		8	つり橋完成。南区竹内光行氏ご夫妻が運動本部を通じて寄贈。		
		10	中央展望台完成。		
		12	市民の森献納式並びに「市民の森運動本部」解散式。2力年にわたる市民の森建設の市民運動を展開し、約5,700万円余の寄付を募り目標の全施設が完成。	10	「福岡市民のこころ」制定。（市制施行80周年記念事業）
1970	昭和45年	3	桜河内林道完成。延長1,438m	2	人工衛星「おおすみ」打ち上げ成功。
		4	常陸宮ご夫妻ご来訪。タイサンボクを記念植樹される。	3	万国博開幕。
			銀杏休憩所完成。博多織元卸商業組合の寄贈。	5	博多駅地区土地区画整理事業完了。
		7	キャンプ場一般開放する。		
		10	「市民の森協会」発足。会長に赤羽善治氏（商工会		

※主なできごとの欄の太字は、福岡市関連のできごとです。

		市民の森・自然観察の森・牧場のできごと		その他の主なできごと	
			議所会頭）副会長に木本元敬氏（観光協会長）を選出。		
1971	昭和46年	3	油山青少年自然教室完成。福岡市観光協会が建設。鉄筋コンクリート2階建、延面積621㎡。	4	志賀町合併。
		9	市民の森を中心にした油山オリエンテーリング公認コース開設。	11	中国国連加盟。
1972	昭和47年	11	福岡市政令指定都市発足記念植樹祭。県、市、市議会、市民の森協会関係者、元市長ほか多数の有志が、夫婦石展望台広場に楠を、駐車場一帯にヒマラヤシダーを記念植樹。	2	札幌オリンピック開催。
				4	福岡市政令指定都市発足。（5区制）
				5	沖縄祖国復帰。
1973	昭和48年	3	福岡市政令指定都市発足記念として、西区老人クラブ連合会がナノミ、南天など実のなる木を記念植樹。	4	元市長・阿部源蔵氏初の名誉市民となる。
		4	油山牧場開場式。九州農政局、福岡営林署、県、市、市議会、酪農団体関係者多数が出席。（工期45～48年。総面積32.6ha、工費17,200万円）		
		12	桜河内林道～牧場の散策道完成。延長1,300m。		
1975	昭和50年	3	楠の森造成、テレビ西日本から楠200本寄贈。	3	早良町合併。
		4	つばきの森造成、市民の森協会事業として、椿250本の市民記念植樹。		山陽新幹線博多乗り入れ。
		6	日時計設置。福岡県貴金属眼鏡商業協同組合から寄贈。	10	福岡市人口 100万人突破。沖縄海洋博開催。
1976	昭和51年	3	梅園造成。市民の森協会5周年記念事業として、梅210本の市民記念植樹。		
		6	ホルトの森造成。福岡ライオンズクラブから創立20周年記念事業として、ホルトノキ2,000本寄贈。	9	天神地下街完成。（延長360m）
1977	昭和52年	4	四季の園造成。国際ソロプチミスト福岡から花木など900本寄贈。	4	（財）福岡市森林公社設立。
		10	太陽電池時計設置。九州郵政局の手によるもの。		
1978	昭和53年	5	新しいつり橋が開通。市、市議会、市民の森協会関係者、前つり橋寄贈者、市民多数が参加し、テープカット。	5	新東京国際空港開港。
			新オリエンテーリング公認コース開設。		90年ぶりの異常渇水による制限給水。（翌年3月まで287日間）
		9	市民の森協会が、市民の森10周年記念事業として記念植樹募金活動を開始。	8	日中平和友好条約締結。
		11	市民の森10周年記念式典並びに記念植樹祭を開催、10周年記念事業として世界の樹木園造成。世界の代表的な樹木46種3,000本の市民記念植樹。		
1979	昭和54年			2	市内路面電車廃止。
				10	「市の木・市の花」制定。（市制施行90周年記念事業）
		12	「世界の樹木園」記念碑除幕式。	11	福岡市美術館開館。
1980	昭和55年			6	福岡市植物園開園。
1981	昭和56年	5	身障者用日帰りキャンプ場完成。飯田産業グループから寄贈。	3	神戸「ポートピア'81」開幕。
		7	市民の森有料駐車場（中央）利用開始。	7	福岡市営地下鉄開業（室見～天神）。
				9	福岡市人口 110万人突破。
1982	昭和57年			5	行政区再編成により7区制。
1983	昭和58年	6	四季の園碑完成。国際ソロプチミスト福岡から寄贈。県木の森完成。47都道府県の県木、21種550本植樹、面積1ha。	3	地下鉄1号線開業（姪浜～博多）。
1984	昭和59年	4	組織変更により、財団法人福岡市森林公社市民の森管理事務所として市民の森の維持管理にあたる。	11	花畑園芸公園一部開園。（63.11全面オープン）
		6	市民の森開設15周年記念として九州朝日放送から水の森に便益施設（野外卓、ベンチ）寄贈。		
		12	市民の森開設15周年記念式典並びにもみじ谷2ha造成。記念植樹としてもみじ 8種類1,000本、記念碑		

次ページへ→

(財)福岡市森林公社の概要

◎設立の趣旨

森林は、水源かん養、緑地保全、治山治水、災害防止等その公益的機能の果たす役割は、都市基盤上極めて重要です。

しかしながら、これら森林の整備の基本となる林業経営は収入を得るまで長期間を要すること、経営規模が零細であること、林業労働力が不足していること等から市域内の造林面積は、年々急激に減少してきました。

このため、森林の整備に対する抜本的な見直しにより、公営による計画的な造林と民間造林を推進することにより、森林の公益的機能の確保と林業の振興を図り、もって緑と人間味豊かな都市づくりに寄与することを目的として、財団法人福岡市森林公社が設立されました。

《基本財産》出資金 10,000千円（福岡市）

◎公社の業務

公社は、設立趣旨に基づき、つぎの業務を行います。

1. 福岡市の分収林となるべき用地の確保事業の受託
2. 森林病虫害防除事業の受託
3. 福岡市営林及び民有林等の造林、保育事業の受託
4. 緑の憩いの場をもつ農林業振興に係る施設の維持管理事業の受託
5. その他目的達成に必要な事業



◎沿革（主なもの）

昭和52年4月1日

・設立許可（福岡県）

昭和59年3月30日

・寄附行為変更認可（福岡県）

（市民の森・花畑園芸公園の維持管理業務を受託）

事務局長

業務課

- ・公社の庶務、経理
- ・植林等の用地交渉等
- ・造林・保育業務
- ・松くい虫の防除等

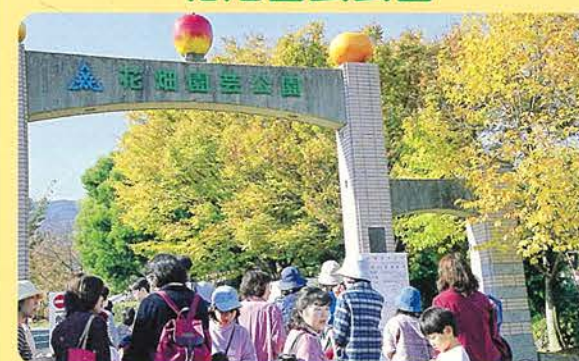
市民の森・牧場管理課

- ・市民の森、自然観察の森の維持管理
- ・牧場の維持管理

園芸公園管理課

- ・花畑園芸公園の維持管理
- ・市民リフレッシュ農園の維持管理

花畑園芸公園



- 面積：14.7ha
- 利用時間：午前9時～午後5時
- 休園日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
12月29日～1月1日
- 入場料：無料
- 駐車場：有料

☎811-1353 福岡市南区柏原7丁目571の1
☎565-5114 テレホンサービス☎565-5151

市民リフレッシュ農園



- 面積：7ha
- 利用時間：4月～ 午前7時～午後7時
10月～ 午前8時～午後6時
- 休園日：毎週月曜日
（祝日の場合は翌日及び12月29日～1月3日）
- 農園使用料：有料

☎819-0165 福岡市西区今津5685
☎806-2565

		市民の森・自然観察の森・牧場のできごと		その他の主なできごと	
1985	昭和60年		を市民の森協会より寄贈。	3	科学万博（つくば博）開幕。
1986	昭和61年	4	もみじ園造成、もみじ320本植樹、福岡県緑化推進委員会福岡支部から寄贈。 市民の森有料駐車場（入口）利用開始。 森林浴コース事業着手及び便益施設整備。	10	九州初の駐輪条例施行。
1987	昭和62年			11	地下鉄2号線開業（中洲川端～貝塚）。
				2	元市長・進藤一馬氏 名誉市民となる。
				11	平和台球場で鴻臚館の遺構を発見。
1988	昭和63年	4	市民の森協会が市民の森20周年記念事業として記念植樹募金活動を開始。 自然観察の森オープン。面積23ha、自然観察センター、自然観察路、誘致林、観察小屋設置。	3	青函トンネル開通。
				4	瀬戸大橋開通。
				5	福岡市人口 120万人突破。
				7	市役所新庁舎開庁。
1989	平成元年	3	香りの散策路完成、散策路延長2,500m、樹種7種類 1,000本。 市民の森20周年記念事業として、平成の滝、休憩所建設。	3	アジア太平洋博覧会開幕。 （よかトピア：3月～9月）
		4	市民の森20周年記念式典並びに記念植樹祭を開催、20周年記念事業としてつばきの森植樹園造成、椿1,400本市民記念植樹及びアスレチック建設。	4	福岡市制 100周年。
1990	平成2年			8	博多の森陸上競技場が完成。
				9	第45回国民体育大会開催。
				10	福岡市博物館開館。
1991	平成3年	4	油山観光牧場整備に着手。	11	福岡市人口 125万人突破。
1992	平成4年	4	カブトムシの森整備に着手。		
1993	平成5年	2	カブトムシ観察小屋完成。		
		3	森林浴コース完成。延長8,000m、休憩所6、便所1ほか。	3	地下鉄空港線開業（博多～福岡空港）。
1994	平成6年	7	市民の森25周年記念式典。カブトムシの森オープン4,000㎡。	9	アジア太平洋都市サミット。
1995	平成7年	3	キャンプ場交歓広場の炊飯場完成。	1	阪神・淡路大震災。
		4	市民の森・牧場管理課に組織名称変更。	8	マリンメッセ福岡開館。 ユニバーシアード福岡大会開催。 国際スポーツ都市宣言。
				9	国際スポーツ都市宣言。
1996	平成8年	7	油山牧場再整備により開場。	6	福岡市総合図書館開館。
		11	油山牧場愛称「もーもーらんど」決定。		
1997	平成9年	3	市民の森駐車場造成工事（第1期）完了。	5	アジア開発銀行福岡総会開催。 福岡市人口 130万人突破。
		4	市民の森入口～管理事務所間の道路整備着手。 （平成11年度完了予定）		
		11	牧場まつり開催。（以後毎年実施）		
1998	平成10年	3	油山牧場立体駐車場利用開始。	2	長野冬期オリンピック開催。 福岡市市民福祉プラザ開館。
		4	四季の園に国際ソロプチミスト記念植樹。 自然観察の森10周年記念事業を実施。（記念行事として各種実施 ～3月）		
		6	市民の森協会によりバンガロー整備完了。 （平成9年度から、建替7棟・補修4棟）		
1999	平成11年	3	市民の森有料駐車場（中央第2）利用開始。	3	福岡アジア美術館開館。
		7	キャンプ場にシャワー室（冷水）設置。	6	博多座開設。
				8	博多港開港 100周年。
		12	平成の滝の水車小屋再整備。		
2000	平成12年	3	市民の森入り口～管理事務所間の道路整備完了。 財団法人福岡市森林公社は同森と緑のまちづくり協会へ統合。		

福岡市市民の森協会の概要

市民の森は、明治百年記念事業として、民間諸団体から構成された「市民の森運動本部」が中心になり市民の総意のもとに整備されたものです。この「市民の森運動本部」の精神を引きつぎ、新たに市民各界からなる「市民の森協会」が設立され、以後、市及び森林公社と一体になって、油山市民の森の来山者等へのサービスにあたっています。

主な事業

自然教室事業

スケッチ大会
オリエンテーリング大会
油山十六景めぐり
宿泊キャンプ指導業務
竹馬、竹トンボ
手作り教室



利便施設事業

- (1)貸器具事業
キャンプ用具、草スキーそり
オリエンテーリング
コンパス等
- (2)売店事業



●オリエンテーリング大会
スタート地点

会員バス事業

ふもとの油山バス停～
市民の森管理事務所前間の
登山バス運行
(3月～11月の日・祝日及び振替休日
のみ運行、運転日要確認)



施設管理事業

森内の
樹木管理、
清掃等



●スケッチ大会入賞者表彰式



●油山十六景めぐり説明板前で

市民の森協会歴代会長

初代	赤羽 善治	昭和45年～昭和48年
2代	蟻川 五二郎	昭和49年～昭和53年
3代	瓦 林 潔	昭和54年～昭和56年
4代	吉本 弘次	昭和57年～昭和63年
5代	山下 敏明	平成元年～平成8年
6代	後藤 達太	平成9年～

同歴代副会長

初代	木本 元敬	昭和45年～昭和63年
2代	布江 彌之助	平成元年～

協会事務所

〒811-1355
福岡市南区大字松原字夫婦石855の4
TEL 801-1460

利用交通案内



バス利用の方

- 博多駅より113番系統ー
松原営業所行(急行)
「油山団地口」バス停下車。
所要時間約30分
- 天神より13番系統ー
松原営業所行
「油山」バス停下車。所要時間約30分
- 上記バス停から徒歩約1時間
なお下記期間は
「油山」バス停及び松原営業所より
西鉄登山バスが
市民の森まで臨時運行。
3月初旬～11月下旬までの日・祝日、
及び振替休日。(運転日要確認)

マイカー利用の方

市民の森駐車場(有料200円)
入口駐車場105台・中央駐車場270台
●駐車場利用時間
4月1日～10月31日
(午前9時から午後8時まで)
11月1日～3月31日
(午前9時から午後6時まで)

市民の森

〒811-1355
福岡市南区大字松原字夫婦石855の4
☎871-6969

自然観察センター

〒811-1355
福岡市南区大字松原字夫婦石855の1
☎871-2112
テレホンサービス ☎861-8686

もーもーらんど油山牧場

〒811-1353
福岡市南区大字松原字西山田710の2
☎865-7020

編集後記

油山市民の森は、福岡市農林水産局の指導を受けながらおかげさまで満30周年を迎えることができました。この間、「10年のあゆみ」「20年のあゆみ」が発刊され、今回「30年のあゆみ」を編集発行いたしました。編集にあたり顧みますと、市民および諸先輩方々に愛され親しまれてきた事跡が思い起こされ感慨無量であります。平成12年度からは、新財団としてスタートいたしますが、市民の森の使命の重要性を認識し、自然を守り住み良い緑豊かな都市づくりのため、市民サービスの向上と利用しやすい施設の維持管理・運営に向け職員一丸となり取り組んでまいりますので、従前に増して皆様方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。最後に、編集にあたりご協力いただきました関係各機関、関係者の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

(財)福岡市森林公社理事長 行徳 雅継

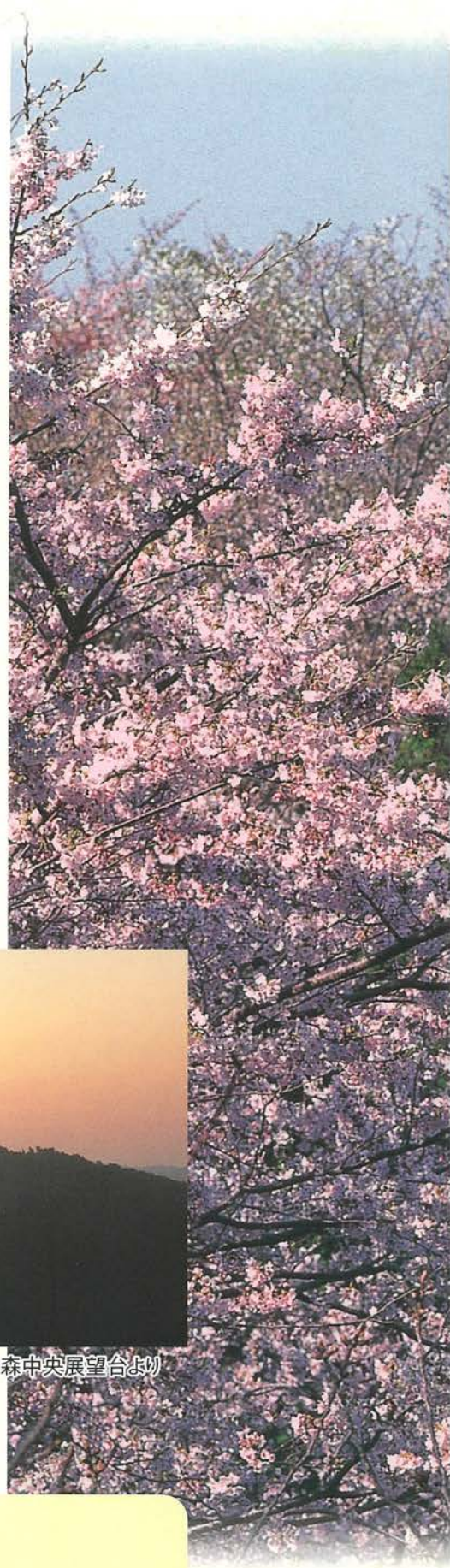
(野鳥写真提供者: 木原 直人・比嘉 正氏)



〔市民の森 シンボルマーク〕



2000年1月1日 市民の森中央展望台より



平成12年3月

監修／福岡市農林水産局

編集・発行／(財)福岡市森林公社 福岡市市民の森協会

